

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年イースター特別号

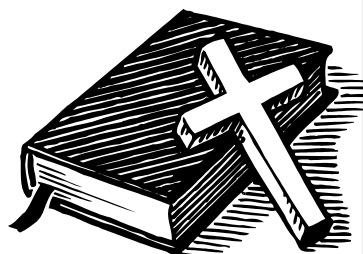
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

それで、ほかの弟子たちが彼に「私たちは主を見た」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません」と言った。【ヨハネの福音書 20 章 25 節】

教会でクリスマスをお祝いすることは良く知られたことかと思えます。しかし、クリスマスと同じくらい大切な日があります。それがイースターです。このイースターは、イエス・キリストが死者の中から復活したことを記念する日です。

「死者からの復活？そんな作り話みたいなことを本気で信じているのか？」と思われるかもしれませんが、クリスチャンは本気で信じています。そして、死者の中から復活したイエス・キリストこそが私たちが信じている対象です。

実は、死者の中からの復活を信じることが出来ないのは、今から 2000 年前も同じでした。十字架で死んだイエス・キリストが復活したと言われても、全く信

じない人もいました。それは、イエス・キリストと共に歩んだ 12 弟子の中にもいたのです。上記の聖書のことばは、その場面で言われたことです。トマスという弟子は、自分がない状況で復活したイエス・キリストが現れたので、あのようなことを言いました。その後でイエス・キリストはトマスの前に現れ、トマスにこのように言いました。「あなたの指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」(ヨハネの福音書 20 章 27 節) トマスは復活したイエス・キリストを見た時、返す言葉がありませんでした。その後もイエス・キリストは 500 人

の弟子たちの前に現れたことが記録されています。そのような、実際に復活したイエス・キリストに出会った目撃者たちが新約聖書を記しました。また、この目撃者たちは、それを当時のローマ世界の至る所で語りました。そして、語った者たちは、次々に逮捕され、投獄され、脅され、鞭で打たれ、石で打たれ、多くの迫害にあいました。それは、「イエス・キリストが死者の中から復活した」と宣べ伝えたからです。しかし、彼らは、それでも語ることを止めませんでした。もし復活が作り話だとしたら、誰がそんな作り話のために命をかけるでしょうか。

復活なんて信じられない、というのは、昔も今も変わりません。しかし、実際に復活したイエス・キリストに出会ってしまった人たちは、語らずにはいられなかったのです。だからこそ、脅されようが、鞭で打たれようが、石で打たれようが、「イエス・キリストが死者の中から復活した」と語りました。だからこそ、遠く離

れた日本にも福音が届きました。そして、聖書は言います。「善を行った者は、よみがえっていのちを受け、悪を行った者は、よみがえってさばきを受けるのです」(ヨハネの福音書 5 章 29 節)。ここで「善を行った者」とは、いわゆる「善行」を行った人のことではなく、イエス・キリストを信じた人のことを言います。私たち人間には必ず死が待ち受けているわけですが、イエス・キリストを信じた者には、「いのち」が与えられることが約束されています。死を乗り越えるいのちを頂いたのがクリスチャンです。そして、その「いのち」があることを知ってほしいと願っているのも、またクリスチャンです。

是非イースターという良い時に、教会に足をお運びください。今年のイースターは、4月5日(日)です。キリスト教会に足をお運びくださり、聖書の話に耳を傾けてください。そして、あなたも復活の「いのち」の希望に生きてください。心よりお待ちしております。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～11:45
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。